

広報あがの



あがの子育て支援センターに
にこのボールプールで遊ぶ横山
繁子さんと孫の山田澄遙ちゃん
(学校町)

特 集

その手を差し伸べよう

～みんなで目指す支え合いの地域づくり～



- 特集 その手を差し伸べよう 2 ~ 7
- 消防団員 8 ~ 9
- お知らせ版、見て歩記 10 ~ 23
- ふるさと探訪、おしゃべり広場 24 ~ 25
- 活動の輪、心の道、クイズ、キッズほか 26 ~ 28

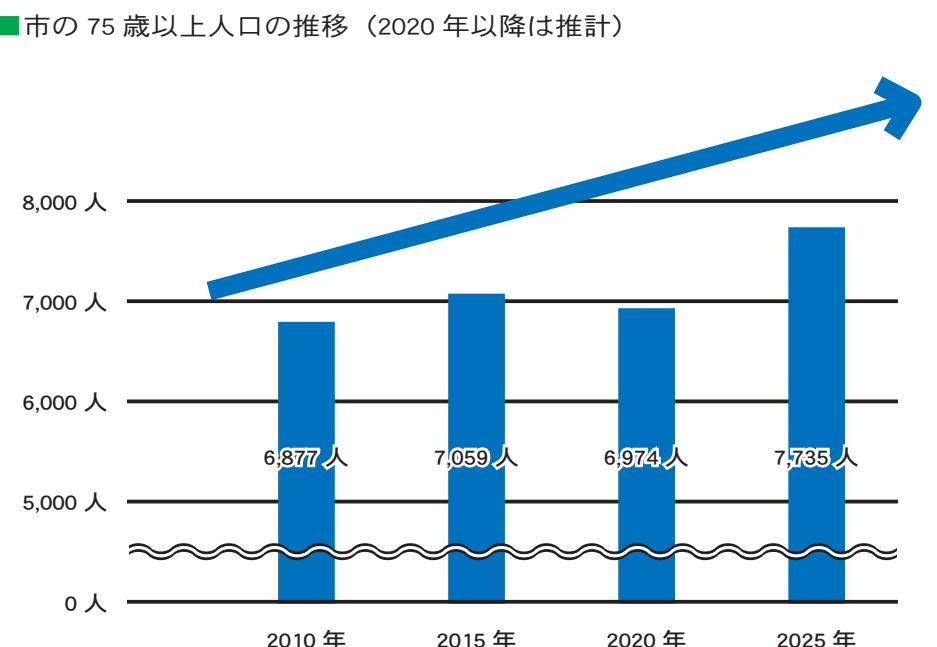
対話と共感
たいわときょうかん

特集 その手を差し伸べよう



中島5自治会で取り組んでいる買い物支援。ボランティアの横山ハツ子さん（中）と涌井トヨさん（右）が買い物をする人に優しく寄り添っていました（6ページ参照）。

増加の一途をたどる高齢者の割合



2010年から2020年にかけての75歳以上人口は大きな増減がありませんが、2020年から2025年にかけては761人、率にして10%の増加となります。2025年には総人口に占める75歳以上人口の割合が約20%となり、5人に1人が75歳以上になります。

「地域の支え合い」って何？

「2025年には20%になる」これは、高齢福祉課が示した市の総人口に占める後期高齢者（75歳以上の人）の割合です。2025年には、団塊の世代が後期高齢者になって、これまで以上に高齢化の時代へ突入します。このような社会で必要となるのが「地域の支え合い」です。高齢者が日常生活を自由なく送れることや、高齢者の居場所があり社会に積極的に参加できることが求められています。このため、今のうちから将来を見据えた社会の在り方をイメージしておく必要があります。

高齢者が多くなると、支援を必要とする高齢者を支える人の数が相対的に少くなりますが、そのため、元気な高齢者を含む地域全体で、支援を必要とする高齢者を支える仕組みづくりが進められています。

高齢者を取り巻く課題

市が策定している第6期介護保険事業計画の中では、高齢者を取り巻く課題として次のことを挙げています。

○地域住民同士の触れ合いや見守り強化

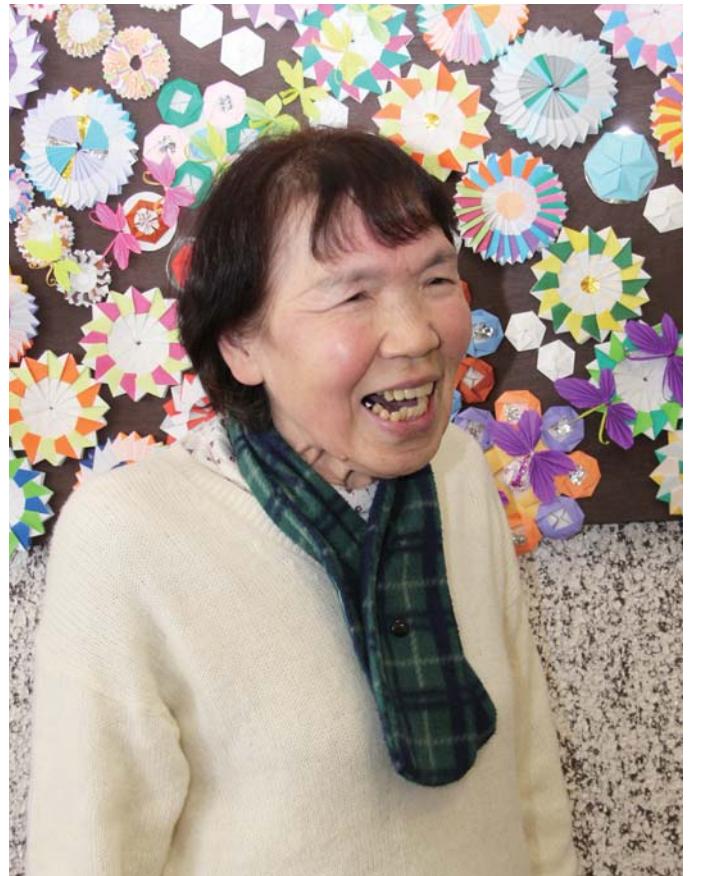
○要援護者に対応した生活支援サービスの提供

活動が進む生活支援協議会

市では高齢者の生活を支援するため、平成28年に生活支援協議会を立ち上げました。協議会は、旧町村単位の4地区にあります。生活支援を行う人同士の情報共有や連携・協働により、身近な助け合いの仕組みをつくりたいことを目的として活動しています。

生活支援サービスの構築で特に重要な活動を行うのが「生活支援コードネイターア」と呼ばれる人たちです。生活支援コードネイターは、支援を望んでいる人のニーズ把握や地域資源のネットワーク構築などを実行しています。また地域に不足するサービスの創出やサービスの扱い手の養成、元気な高齢者が活躍する場の確保といった資源開発も重要な役割です。生活支援協議会と生活支援コードネイターが一体となることにより、高齢者の生活支援を担う支え合いの仕組みが前進していきます。

生活支援協議会と生活支援コードネイターが一体となることにより、高齢者の生活支援を担う支え合いの仕組みが前進していきます。



安田公民館で行っている「ほがらかサロン」に訪れている浅間律子さん（保田）に話を聞きました。

ほがらかサロンは月に1回開催されています。私は7、8年前から利用していて、毎回訪れています。利用者とボランティアを合わせると25人ぐらいの人が集まり、とてもぎやかなサロンだと思っています。ここに訪れるようになつて多くの友人ができました。

ここでは、訪れる皆さんと一緒に話したり、運動やゲームをしたりして過ごしています。頭、体、そして

▼すがすがしい気分に

て心を動かすことで、とてもすがすがしい気分になります。

花見をしたり、野外研修に行ったり、新年会を行ったりと多彩な行事があるのです。いつも「また行こう」という気持ちになります。

▼顔を合わせることが楽しみ

月に1回の活動ではありますが、毎回サロンに来て、皆さんと顔を合わせることがとても楽しみです。これからも欠かさず訪れるようになります。そして、健康で元気な生活を送ることができますようにしていきたいです。



「今日もたくさん的人が集まりましたね」。その場所では、参加者の元気な笑い声が響いていました。

笹神支所で開かれている地域の茶の間「げんき会」の一ここまでです。げんき会はJAささかみが運営しています。平日の午前中に来たい人が集まって、お茶を飲んだり、お菓子を食べたりしながら話をする場です。笹神産大豆を使つた豆乳の無料サービスもあり、参加者は、他の参加者と楽しいひとときを過ごしています。

参加者が楽しめるように、ボランティ

アの皆さんが工夫を凝らしています。月に1回、絵手紙を作つたり、買い物ツアーや行つたり、演劇を見に行つたりしています。

げんき会の運営を担当する堀敦さん（堤）は「この会はいつもにぎやかで、皆さんの憩いの場になつていています。お話をしたり、好きなことをしたりして過ごすことができます。皆さんが顔をつけて元気に交流する姿が、これらも続くといなと思っています」とかをてお話ししています。

参加してみよう

市内には、この他にも多くの地域の茶の間やサロンがあります。場所によっては、昼食の時間を挟んで1日中開催している所もあります。

高齢者の介護予防が求められています。サロン等に顔を出して、集まつた人たちと話をすることは、心と体をリフレッシュできるだけではありません。社会参加をしたり、社会的役割を持ったりすることで、生きがいや介護予防にもつながります。

いつでも気軽に参加できる場所

心安らぐ 地域の茶の間・サロン



げんき会に集まる人たち

目指す地域像 ～あったかい思いやり 誰もが気づきあえるまち～

阿賀野市支え合いの拠点

移動サービスや配食サービス、生活支援有償ボランティアなど
各地区の拠点で対応が難しい支え合い活動を行い、
市全体をカバーします。

安田地区

地域の茶の間 (支え合い活動の拠点)

- 各自治会内
- ・地域の茶の間
- ・見守り
- ・生活支援（買い物、ごみ出し、除雪など）
- ・救急対応など

京ヶ瀬地区

地域の茶の間 (支え合い活動の拠点)

- 各自治会内
- ・地域の茶の間
- ・見守り
- ・生活支援（買い物、ごみ出し、除雪など）
- ・救急対応など

水原地区

地域の茶の間 (支え合い活動の拠点)

- 各自治会内
- ・地域の茶の間
- ・見守り
- ・生活支援（買い物、ごみ出し、除雪など）
- ・救急対応など

笹神地区

地域の茶の間 (支え合い活動の拠点)

- 各自治会内
- ・地域の茶の間
- ・見守り
- ・生活支援（買い物、ごみ出し、除雪など）
- ・救急対応など

市では支え合いのある地域づくりの一歩として、上のようなサービス提供の仕組みを目指しています。各地区に支え合い活動の拠点となる地域の茶の間を設けます。各自治会でも支え合いの仕組みを広げていきます。「阿賀野市支え合いの拠点」は各地区の拠点と連携します。



下間千加子さん（左）と井上秀子さん（右）

▼自分たちの役割
井上 ボランティアとして、高齢者

市生活支援コーディネーターを務める下間千加子さんと井上秀子さんに、支え合いの地域づくりについて話をもらいました。

支援の仲間を増やしたい

下間 これまでの活動や生活支援協議体の皆さんと検討する中で、誰でもいつでも行ける交流の場の必要性を実感し、サロンなどをはじめとした交流の拠点をつくろうとしています。そこは高齢者だけでなく、子どもや子育て中の親など、いろいろな世代の人々が集まる場であることを考えています。年代を問わず、お互いの支え合いが自然発生的にできるような場であることが大切だと考えています。

井上 これからは、困っている人が自ら声を上げることができる社会を築いていくことが重要です。支える側・支えられる側が遠慮なく声を掛け合うことができる社会が必要です。

支え合いの地域づくりは、「困っている人を支えたい」という気持ちは重要です。いま支える側の人も、いつ支えられる側になるか分かりません。困っている人の気持ちになつて、手を差し伸べてみましょう。

下間 千加子
井上 秀子

▼理想の支え合い社会

市生活支援コーディネーターを務める下間千加子さんと井上秀子さんに、支え合いの地域づくりについて話をもらいました。

下間 支援をしている人同士の情報共有も重要なことですよ。「ここではこんな取り組みをしているけど、こんな課題もある」といった情報が広まつて、「うちではこんなやり方をしていますよ」といった情報交換ができます。各地で活動している人たちが有機的なネットワークでつながると、さらに活動の幅が広がっていきます。その後押しをしていきたいですね。

井上 支援の仕組みや情報共有の仕組みなどを考え、実行に移していくことが私たちの仕事です。関係する皆さんや市民と一緒にになって、理想の社会の実現に向けて力を尽くしていきたいです。

■この記事に関する問い合わせは、
・地域包括支援センター阿賀野 ☎ 62-2510（内線 2132）
・地域包括支援センター 笹神 ☎ 62-4143



支え合いの地域づくりに向けて、市でも取り組みを行っています。昨年7月には「支え合いのある地域づくりを考える市民の集い」を開催。市内外から約250人が参加し、支え合い活動の必要性について理解を深めました。昨年12月の居場所づくりの研修会に引き続き、ことし1月には、移動サービスに関する研修会を開催。日常の買い物や通院等の移動に困っている人をどう支援するかについて学びました。このような市で行っている取り組みなどを紹介するものとして、年に3回

実際に自分たちの手で支え合いの活動に取り組んでいるのが中島5自治会です。同自治会の高齢化率は約45%。水原地区でトップクラスです。「住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう」との目的で、買い物支援や救急支援などを行い、支え合いの輪を広げています。

広がる自治会での取り組み

自治会として買い物支援などに取り組んでいる中島5自治会。自治会で企画部長を務める高橋義衛さんに話を聞きました。

▼評判も上々の生活支援

買い物支援は週に1回行っています。高齢者を車で自宅まで迎えに行き、スーパーなどへ連れていきます。買い物が済むと自宅まで送っています。救急支援は、1人暮らしの高齢者が救急車で搬送されることが相次いだため行うことになりました。急病などの緊急時に自治会役員や近所の人々に連絡をすることで、救急車を呼ん

だり、病院へ同行したりします。利用者からの評判も良く、特に買い物支援では「いつも助かっている」との言葉をよくもらいます。

▼必要とする新しい力

支援をする担い手の問題があります。少子高齢化が進み、若い人が減っているので、今後の支援の仕組みを考えていかなければなりません。いま住んでいる若い人や新しく移り住む人たちの力が必要です。

自治会の行事などを通して普段から多くの世代の人と交流し、持続可能な支援の仕組みをつくりたいと思います。



市民の意識を高める

発行している「地域支え合いづくりかわら版」があります。次回は今月発行し、各世帯に回覧します。

支え合いの活動に取り組むために

消防団協力事業所表示制度

消防団協力事業所表示制度とは、消防関係法令に重大な違反をしていない次の条件のいずれかに適合している事業所を市が認定し、従業員が消防団に入団して活動しやすい環境を、事業所の協力を得て整備することを目的とした制度です。

【認定条件】

- 従業員が消防団に4人以上入団していること
- 従業員の消防団活動に積極的に配慮していること（入団人数は問わない）
- 災害時などに事業所の資機材等を消防団に提供するなどの協力ができること（従業員に消防団員がいなくてもよい）
- 消防団活動に協力することにより、地域の消防防災体制の充実強化に寄与していて、特に優良と認められていること



協力事業所随時募集中

- 消防団協力事業所（2月1日現在：38事業所）認定順に記載

(株)帆苅組	(有)澤田工業
(株)坂詰組	小菅建設興業株
永光建設株	(株)三浦組
(株)ミツマ	(株)ライズビルド
(有)川端商会	(株)阿賀建設
(株)小島組	(株)北友建設
(株)渡辺建設	(株)小林造園
(株)加藤工業所	(株)ハナザワ
(有)戸田建設	(株)光建設
(株)宇尾野設計・機工	(株)井上土木
(株)神山企画	安田建設株
(株)佐藤建設	(株)遠清商事
(有)中野建設	(有)山辰建設
(株)小林組	(株)加藤組
(株)国井組	(有)五頭電気商会
(株)石栗組	(株)今井電友舎
(株)清野	安田設備工業株
(株)若月商店	森山建材株
(株)上松設備	(株)松田設備工業

※多くの事業所の参加をお待ちしています。申請方法は消防団事務局に問い合わせください。

にいがた消防団員サポート制度

県では消防団を地域全体で応援するため「にいがた消防団員サポート制度」を実施しています。

この制度は、消防団員がサポートショップでサポートを提示すると、消防団員とその家族が料金割引などのサービスを受けることができます。



サポートショップ
随時募集中

- 市内のサポートショップ（2月1日現在：15店舗）

メガネスーパー水原店	クスリのコダマ水原店
大光銀行水原支店	大光銀行安田支店
白善商店	(株)小林組モータープール
ほっかべん阿賀野市役所前店	のろし安田店
サントピアワールド株	理容室まるやま。
春よし	スナック花音
大漁寿司	居酒や きまぐれ
パブクラブ ダブル	

※多くの店舗の参加をお待ちしています。登録方法は消防団事務局に問い合わせください。

■この記事に関する問い合わせは、消防本部 消防団事務局へ ☎ 62-2058

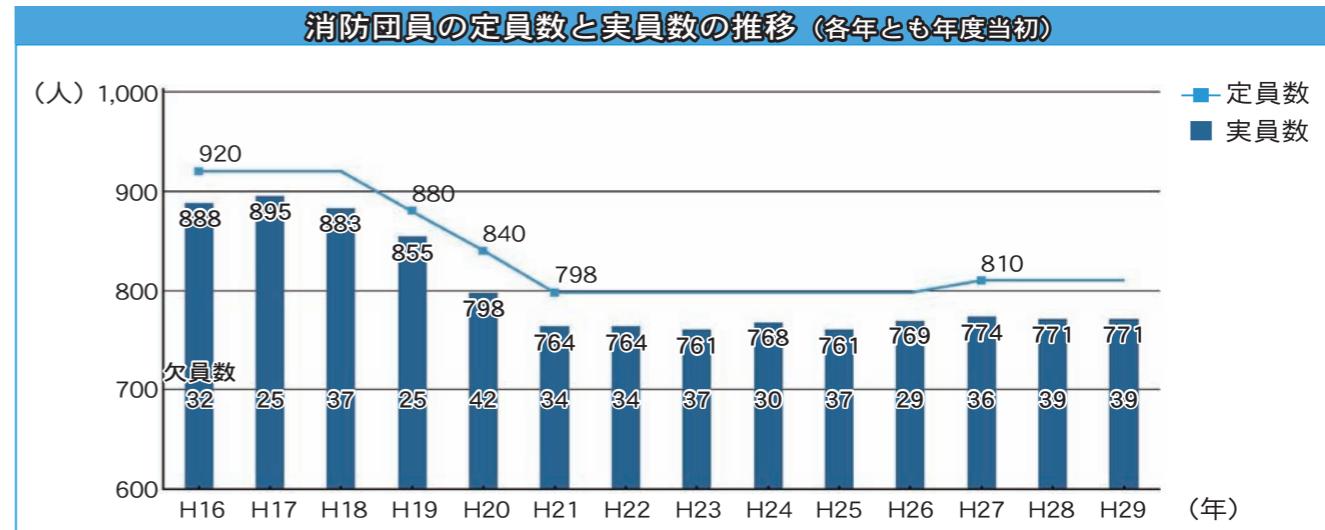
火災や自然災害から生命・財産・地域を守る 消防団員の確保が大切です ～備えあれば憂いなし～

少子化による若年層の減少や就業構造の変化などから、市の消防団員は定員数810人のところ35人不足しています（2月1日現在）。

消防団は、消火活動はもとより、風水害や地震など自然災害への備えとして、地域密着性・要員動員力・即時対応力の面で不可欠な存在です。消防団員を確保することは、地域防災力の低下を防ぐとともに、地域コミュニティの維持・活性化に

もつながります。

新潟地震（昭和39年）や羽越水害（昭和42年）の発生から半世紀が経過し、体験者の話も聞けなくなりつつあります。人々の記憶が薄れていく中で、災害から得た教訓を次世代に伝えるため、消防団は先人たちの志を受け継ぎ、この先も存続させなければならない重要な組織です。



入団資格

- 市内に居住または勤務している人
- 18歳以上45歳未満の人（目安）
- 心身ともに健全な人

※入団希望者は消防団事務局に連絡してください。

※消防団には火災予防活動などを行う女性部があり、女性の入団も大歓迎です。

消防団員の報酬等

- 報酬・費用弁償：年額報酬（団員14,000円）、出動等の費用弁償1回3,000円（4時間以上の訓練は1回5,400円）
- 退職報償金：団員経験5年で20万円
- 被服の貸与 ■公務災害補償
- 共済制度（入院7日目から適用等） ■表彰制度

活動内容

- 消防活動、火災予防活動、災害時の消防活動・後方支援、各種事業等への参加

主な年間事業



消防出初式



阿賀野川水防工法演習



ポンプ操法競技会

募 集

電話番号の記載のない市役所・各支所・公民館等の連絡先は、お知らせ版の最初のページに掲載しています。

(福) 慈豊会 職員募集

募集人数=3人

就業場所=グループホームいらかの丘・あおむろ・まえやま

応募資格=年齢=不問

就業時間=準職員4交代制

午前7時~午後4時

午前8時30分~午後5時30分

午前11時~午後8時

午後5時~翌日午前9時

社会の実現に向けて、一緒に考えてみませんか?

市内在住で20歳以上 (平成30年4月1日現在の年齢)

女性問題や付属機関の委員に理解と熱意を有する人

他の審議会や付属機関の委員に理解と熱意を有する人

女性問題や付属機関の委員に理解と熱意を有する人

で定期的に露店市場を開設しています。

この露店市場の歴史は古く、開設は今から300年ほどさかのぼります。

露店市場で活気をもたらす物客で活気に包まれています。

そんな露店市場にあなたも出店してみませんか?

おもな商品をはじめ、鮮魚、海産物、葉子、衣料品、履物、雑貨、花卉などあらゆるものが販売されています。

男女が共に生き生きと暮らせる

社会の実現に向けて、一緒に考えてみませんか?

市内在住で20歳以上 (平成30年4月1日現在の年齢)

女性問題や付属機関の委員に理解と熱意を有する人

他の審議会や付属機関の委員に理解と熱意を有する人

女性問題や付属機関の委員に理解と熱意を有する人

で定期的に露店市場を開設しています。

この露店市場の歴史は古く、開設は今から300年ほどさかのぼります。

露店市場で活気をもたらす物客で活気に包まれています。

</div



糖尿病予防をテーマにした「市民講座」が2月8日、水原保健センターで行われました。あがの市民病院糖尿病・生活習慣病予防治療センター医師の古川和郎氏が、糖尿病の症状や血糖値などについて説明し、あがの市民病院での取り組みも紹介。「血糖値が高いと言われたら医療機関を受診しましょう」と呼び掛けました。講演を聞いた夏井マサミさん（北本町）は「糖尿病を防ぐために、今も行っている運動を今後も続けていきたい」と話してくれました。

理解を深め予防につなげ

市民講座



食事のバランス分かるかな？

食農教育出前授業

J A北蒲みなみによる「食農教育出前授業」が1月23日、風の子こども園で行われ、3歳児から5歳児の約80人が参加しました。J Aの職員が講師となり、ミミズについての紙芝居を読んだり、エプロンを用いて食べ物の排せつ流れを説明したりしました。園授業を受けた帆苅彩ちゃんは「紙芝居と食べ物のクイズが面白かった」と話してくれました。

現場では訓練のように！

文化財防火デーに伴う消防訓練



第64回文化財防火デーに伴う消防訓練が1月26日、水原ふるさと農業歴史資料館で行われました。当時は近隣住民や施設関係職員が参加し、消防車両による出動・放水訓練や施設の防火防災指導、火器取扱訓練等が実施されました。肥田浩明消防次長からは「訓練は現場のように、現場では訓練のように」という言葉を消防ではよく言う。皆さんもそのように行動してほしいとの総評があり、参加者は文化財を守ることの重要性を再認識するとともに、日頃からの備えの大切さを実感していました。

越後桜を楽しむ会の井岡英夫会長と越後桜酒造株式会社（山口町1）の長昌幸社長が2月7日、市役所を訪問。11月28日に開催した「第7回越後桜を楽しむ会」の参加費から、瓢湖のために役立てほしいと、フィールドスコープ（直視型望遠鏡）、スコープ用三脚、記録カメラ各1台（30万円相当）を寄贈されました。同会からの寄付・寄贈は、今回で7回目。寄贈された物品は、瓢湖での野鳥監視用機材として活用します。

瓢湖のために役立てて

越後桜を楽しむ会寄贈



左から、井岡会長、長社長、田中市長



岩橋静哉さん（若葉町）が、12月1日付けの高齢者叙勲で瑞宝双光章（教育功労）を受章されました。岩橋さんは、京ヶ瀬国民学校助教、駒林小学校助教諭の後、昭和26年4月、新潟県教育委員会に正式採用され、前山小学校、安野小学校、保田小学校等に勤務。川口町立木沢小学校、三川村立谷花小学校、赤坂小学校の教頭や柄尾市立入東小学校、豊浦町立荒橋小学校の校長を経て、平成2年3月、分田小学校校長を最後に退職されました。この間、小学校の教育現場で学校教育の充実・発展に尽力されました。

岩橋静哉さん瑞宝双光章受章

毎年の功績・功労に

お目当ての一杯は？

銘酒と名湯ごつつおまつり



左右の確認忘れずに

着ぐるみ劇による交通安全教室

着ぐるみ劇による交通安全教室が市内の各保育園・幼稚園・認定こども園で行われました。教室では、トラ・ウサギ・パンダが道路の歩き方や横断歩道の渡り方などについて詳しく説明。園児たちは着ぐるみの話を真剣に聞いていました。その後、実際に横断歩道を渡る練習も行いました。児童は「横断歩道を渡るとときは、左右をよく見て手を挙げて渡りたい」と交通ルールを守る約束をしてくれました。

選手がやさしくバスケを手解き

アルビ BB ラビッツの選手による体育実技指導



新潟アルビレックスBBラビッツの選手による体育実技指導が2月14日、安野小学校で行われました。市体育協会の臨時職員であるナウタヴァイ主理マットソニア選手が、学校側の招きで体育の授業に参加し、5・6年生65人にバスケットボールを指導。ミニゲームを中心、選手1人対児童5人の対戦や即席のサイン会が行われるなど、楽しい交流となりました。

同選手は火曜から木曜に水原総合体育館で勤務しています。派遣を希望する団体は、市体育協会（☎ 257-613）に連絡してください。

阿賀野川沿いの蔵元や温泉旅館の料理が集う「銘酒と名湯ごつつおまつり」が2月4日、道の駅阿賀の里（阿賀町）で行われました。市からは白龍酒造・越つかの酒造・越後桜酒造が出店。五頭温泉郷旅館協同組合のブースでは、うららトマトを使ったミネストローネが販売されました。

来場者はお目当ての一杯を探しながら、思う存分銘酒を堪能しました。



ふるさと探訪

阿賀野市の歴史・文化・風土

シリーズ 阿賀野市の伝説

「三本櫻旧跡（水原地区）」

安野町にある菅原神社の境内に「三本櫻舊跡」と刻まれた石碑があります。

この石碑はもともと別の場所



「三本櫻舊跡」の石碑

にあつたものを移したといわれおり、その時に起つた不思議な出来事の言い伝えが残っています。今月は、その言い伝えを紹介します。

月は、その時に起つた不思議な出来事の言い伝えが残っています。今月は、その言い伝えを紹介します。

月は、その時に起つた不思議な出来事の言い伝えが残っています。今月は、その言い伝えを紹介します。

月は、その時に起つた不思議な出来事の言い伝えが残っています。今月は、その言い伝えを紹介します。

月は、その時に起つた不思議な出来事の言い伝えが残っています。今月は、その言い伝えを紹介します。

月は、その時に起つた不思議な出来事の言い伝えが残っています。今月は、その言い伝えを紹介します。

おしゃべり広場



P.N やなぎさん

佐渡自然保護官事務所の情報

佐渡自然保護官事務所の情報

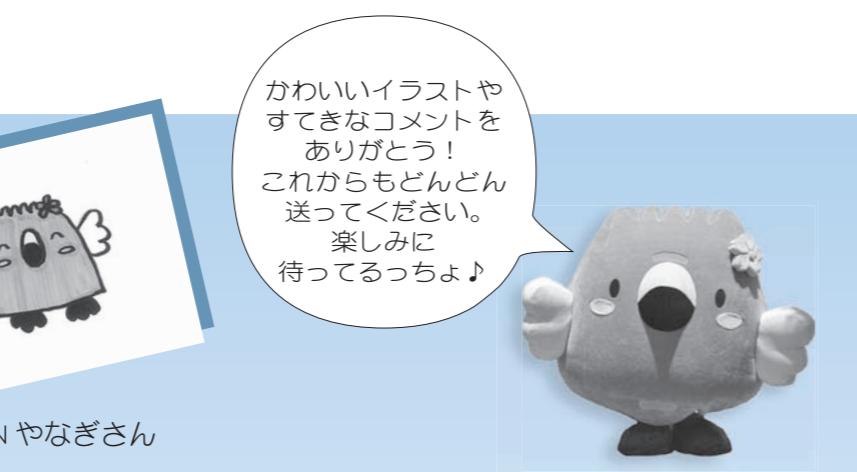
佐渡自然保護官事務所の情報

佐渡自然保護官事務所の情報

佐渡自然保護官事務所の情報

佐渡自然保護官事務所の情報

佐渡自然保護官事務所の情報



かわいいイラストや
すてきなコメントを
ありがとうございます！
これからもどんどん
送ってください。
楽しみに
待ってるつちょ♪

佐渡自然保護官事務所の情報
では、野生の推定個体数290羽のうち1羽だけ本州に飛来しています（2月7日時点）。
阿賀野市にトキが飛来してい
たことに驚きました。（20代・男性）
こずっちょ通信と間違い探し
を楽しみにしています。（40代・女性）
スマイルキッズと間違い探し
が大好きです。（20代・女性）

佐渡自然保護官事務所の情報
では、野生の推定個体数290羽のうち1羽だけ本州に飛来しています（2月7日時点）。
阿賀野市にトキが飛来してい
たことに驚きました。（20代・女性）
こずっちょ通信と間違い探し
を楽しみにしています。（40代・女性）
スマイルキッズと間違い探し
が大好きです。（20代・女性）



ごずっちょ通信 No.69

ごずっちょのお出掛け情報や
近況をお知らせします

ごずっちょの情報は、Facebook や市ホームページで
も見れるつちょ。
【問い合わせ】
市民協働推進課 市民協働推進係 ☎ 62-2510

★堀越雪まつりに出演してきたつ ちょ！

2月4日に開催された「第1回堀越雪まつり」に出演してきましたよ。



雪合戦やそり遊び、かまくら作りなど雪遊びの楽しさを子どもたちに伝えるため、堀越シニア青年団が企画したイベントだよ。会場では力七汁や甘酒も振る舞われて、参加した人たちは、とても楽しそうにしていたよ。

ごずっちょも、JA北蒲みなみの「ハクマイちゃん」と一緒に出演して、みんなとたくさん触れ合うことができて楽しかったちょ。

★ごずっちょの問い合わせは気軽に どうぞ

イラストの使用やグッズの作製、着ぐるみの貸し出し、イベントの出演などに関する問い合わせは、市民協働推進課へ連絡してね。



菅原神社

月は、その時に起つた不思議な出来事の言い伝えが残っています。今月は、その言い伝えを紹介します。

月は、その時に起つた不思議な出来事の言い伝えが残っています。今月は、その言い伝えを紹介します。

月は、その時に起つた不思議な出来事の言い伝えが残っています。今月は、その言い伝えを紹介します。



作・齋藤 紀子



1月27日、前山にある親戚宅の垣根前で伊藤快斗さん(天神堂)を撮った写真です。この垣根は消雪パイプのある県道沿いにあり、連日の寒波で氷柱化したものです。市では1月13日に今年の最低気温-8.4℃(消防署観測)を記録しました。

スマイルキッズ

Smile Kids



ななせ
丸山 七彩ちゃん(1歳4ヶ月)／外城町(パパ拓也さん・ママ春佳さん)

「ななちゃん」は、おんがくのリズムにあわせて、からだをうごかすのがだいすき！おうちでは、キーボードのあとにあわせて、よくおどっているよ。あるきまわるのもすきなんだ。ママとパパがつくってくれるごはんをたくさんたべて、げんきいっぱいに、いろいろなところにおさんぽにいきたいなー♪

ひとり もう一匹の家族



をジャンプして前足でキャッチすることもできるんだ。ボールをキャッチした後は、いつもカッコよくポーズを決めているよ。



石田友紀子さん(安野町)宅の「アトム」くん



京ヶ瀬地区でチューリップの切り花の出荷が始まっています。赤・黄・ピンクなどのさまざまな色や形のチューリップが、約30品種栽培されています。主に関東の市場に出荷され、県外の生花店などで販売されます。

市内見て歩記のコーナー等で紹介しきれなかつた写真や出来事を紹介します。

取材カメラは
見た！